

The poster features a central yellow circular frame containing the text 'College of Agriculture' in pink cursive and 'TAMAGAWA UNIVERSITY 2025' in black and pink. The background is filled with various agricultural illustrations: a scientist with a microscope, people carrying large vegetables, a beekeeper, a farmer with a wheelbarrow, and various crops like onions, carrots, tomatoes, and wheat. The text '玉川大学 農学部' is centered below the frame, followed by the department names in Japanese: '生産農学科' (Production Agriculture), '環境農学科' (Environmental Agriculture), and '先端食農学科' (Advanced Food Agriculture).

# College of Agriculture

TAMAGAWA UNIVERSITY

2025

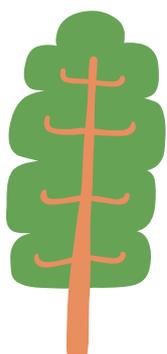
玉川大学 農学部

生産農学科

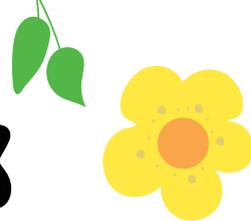
生物資源コース・生命科学コース  
理科教育コース

環境農学科

先端食農学科



# 玉川大学 農学部



世界を舞台に農学の  
新たな可能性を探索する人を育てる



農学部 Website

## 生産農学科

### 生物資源コース・生命科学コース

生命科学の視点で農学を幅広く学び、  
食と農の発展に貢献

#### #Keywords

- ・作物・果樹・栽培技術・分子育種
- ・ゲノム編集・微生物・病害防除
- ・農薬開発・バイオテクノロジー
- ・天然物化学・有用代謝産物
- ・社会性昆虫・昆虫生理・適応進化
- ・摂食行動・免疫・恒常性・生殖と発生
- ・ゲノム・遺伝子・タンパク質・細胞

農学と生命科学を総合的に学びたい人にお勧め!

### 理科教育コース

豊かな「体験」を通して実践的スキル  
を身に付けた理科教員になる

#### #Keywords

- ・中学校教諭一種免許状（理科）
- ・高等学校教諭一種免許状（理科）
- ・高等学校教諭一種免許状（農業）
- ・小学校教諭二種免許状
- ・ICTを活用した実践的な授業力
- ・安全で正しい実験方法・指導法
- ・豊富な模擬授業・模擬実験
- ・小中高理科の教材研究

理科や農業科の教員になりたい人にお勧め!

## 環境農学科

自然環境・農業・社会を多角的に  
理解し持続可能な社会へ貢献

#### #Keywords

- ・環境保全・農業・絶滅危惧種
- ・栽培技術・国際協力・地域活性化
- ・環境適応・植物化学・生態系・森林
- ・里地里山・物質循環・環境動態・土壌
- ・生物多様性・相互作用・野生動物
- ・動物生態・ドローン・人工衛星

国内外での体験を通じて、自然環境や持続的な  
農業を学びたい人にお勧め!

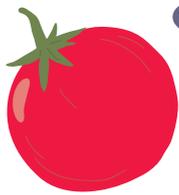
## 先端食農学科

サイエンスとテクノロジーを活用して、  
未来の「食」づくりに挑戦

#### #Keywords

- ・食の6次産業化
- ・閉鎖系での食料生産・植物工場・陸上養殖
- ・食品衛生・食の安全・安心・保蔵
- ・食品加工・企画開発
- ・微生物利用・発酵・醸造
- ・食の健康機能・食品分析
- ・栄養生理・応用栄養・スポーツ栄養

食品の栽培・養殖から加工まで幅広く学びたい  
人にお勧め!



# 玉川大学農学部の特徴



## 1. 学内農場 (玉川大学キャンパス: 東京都町田市)

東京にありながら、学内農場には畑・水田・温室が揃い、種まきから収穫まで全ての農作業を経験できます。授業の合間でも気軽に圃場で作物の観察・調査ができます。さらに、農場周辺には里山が広がっており、さまざまな生き物たちに出会えます。

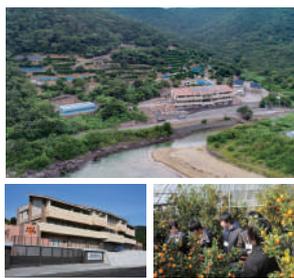


## 2. 触れることから始める実践的な学び

実際に手で触れて目で見て学ぶ学習環境を整えています。玉川大学キャンパス内には、LED を利用した植物工場研究施設や食品製造を学べるフードサイエンスホールがあります。さらに、箱根の自然観察林や北海道・鹿児島島の農場など、多様な環境の中で学びを広げることができます。



北海道  
弟子屈農場



鹿児島  
南さつま久志農場

玉川大学キャンパス



植物工場研究施設



フードサイエンスホール



箱根自然観察林



## 3. 教員と学生がともに学ぶ ~師弟同行~

農学部では、教員と学生が共に学ぶことを大切にし、教職員が一丸となって学生の充実した学修をフォローします。1年次より担任が付き、全員への定期的な面談を行うだけでなく、普段からの声かけを大事にし、より良い大学生活が送れるようサポートしています。





## 生命科学の視点で農学を幅広く学び、食と農の発展に貢献

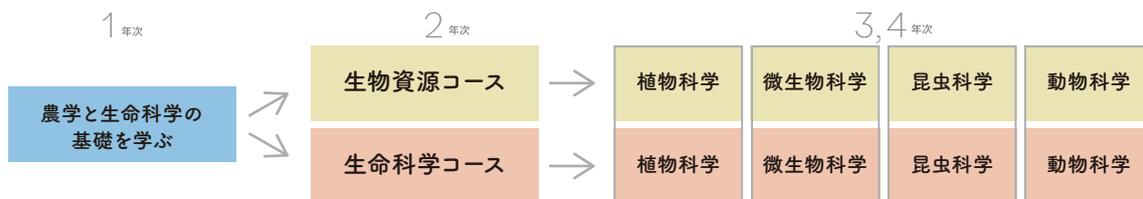
学びのキーワードは「生命科学」、そして「総合農学」です。食料生産の向上には生物を科学的に理解することが不可欠であり、生命科学がその基盤となります。生産農学科では、地球上のさまざまな生物を研究対象として、マクロな視点（個体や集団など）とミクロな視点（遺伝子や細胞など）から生物の機能と特性を総合的に探究します。

### 学びのポイント 2025年度より、コース制が始まります!

1年次は農学と生命科学の基礎を学び、2年次から2つのコースに分かれて特色のある履修を進めます。3年次からは2つのコースがそれぞれ4つの専門領域に分かれ、各コースの専門性を高めていきます。

**生物資源コース**：個体・個体群・生態系といったマクロの視点で食料生産・農業技術の向上を目指します

**生命科学コース**：分子・遺伝子・細胞といったミクロの視点で生物の生命現象の本質の解明を目指します



### 2つのコース × 4つの専門領域で多様な学びの展開

#### 主な開講科目

セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
	農学や生命科学の基盤となる科目を学ぶ		各コースの基幹科目を身に付ける		興味や志向に合わせた専門科目へ		学びたい専門領域を究める	
講義科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物学 A・B</li> <li>有機化学 A</li> <li>農学セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学 A・B</li> <li>環境と農業</li> <li>生物統計学 A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物形態学</li> <li>微生物学</li> <li>細胞生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫資源学</li> <li>動物行動学</li> <li>生態学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物育種学</li> <li>有機化学 B</li> <li>ゲノム科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物病理学</li> <li>植物生理学</li> <li>畜産学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産農学演習 B</li> <li>生産農学演習 C</li> </ul>	
実験実習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎生物学実験</li> <li>基礎化学実験</li> <li>フィールド実習 A</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド実習 B</li> <li>生物化学実験</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>専門実験・実習 A</li> <li>専門実験・実習 B</li> <li>フィールド実習 C</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業研究 A</li> <li>卒業研究 B</li> <li>卒業研究論文</li> </ul>	
実験・実習の項目例	<ul style="list-style-type: none"> <li>花の観察</li> <li>昆虫の外部形態</li> <li>哺乳動物の内部形態</li> <li>小農具の使用法</li> <li>秋野菜の栽培管理</li> <li>収穫物の品質調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陽イオン定性</li> <li>酸度の測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理活性物質の抽出</li> <li>害虫と農業・DNA 抽出</li> <li>タンパク質の分離</li> <li>病原菌と農業</li> <li>夏野菜の栽培管理</li> <li>章刈り機講習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌分析</li> <li>酵素の動力学定数</li> <li>天然物の抽出</li> <li>遺伝子解析</li> <li>PCR 分析</li> <li>学外農場での自然観察</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物の高品質化に関する研究</li> <li>ゲノム編集による生物の改良</li> <li>植物寄生菌の分類や菌類病害の診断</li> <li>社会性ハチ類の生理・生態の解析</li> <li>動物の行動への環境の影響</li> <li>栄養や環境の哺乳動物への影響</li> </ul>	

※科目名称や開講するセメスターは、変更されることがあります。



## 広い学内農場で作物の栽培管理を学ぶ

フィールド実習A (必修)



自分専用の畑で野菜を栽培

フィールド実習B



ハウス栽培も体験

## 北海道・鹿児島で幅広い農業に触れる

フィールド実習C (選択科目、1ヶ所で宿泊実習)



北海道 弟子屈農場の演習林を観察



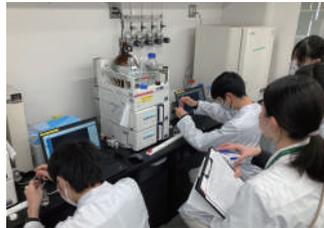
鹿児島 久志農場に面する海岸での調査

## 広く充実した実験室で理論と技術を身につける

実験背景と目的の理解、実験操作の習得、実験結果の取得と考察、レポート作成、レポートへのフィードバックを繰り返し、基礎力を付けます。



基礎生物学実験



生物化学実験



専門実験実習

### 取得可能な資格

- ・環境再生医初級
- ・学芸員

### 受講可能な検定・講習等

(講義外、任意、別途費用がかかります。)

- ・農業技術検定
- ・刈払い機取扱者安全衛生教育
- ・大径木伐木等(チェーンソー)特別教育(隔年)
- ・小型車両系建設機械(3t未満)特別教育(隔年)

## 農学に関する幅広い分野を網羅した4つの専門領域(3年次より配属)

\*生物資源、生命科学の両コースとも4領域のいずれかに所属して学びます

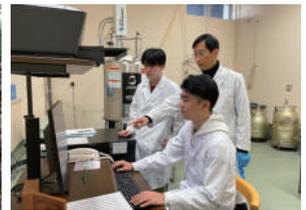
### 植物科学領域

作物・果樹の栽培技術の改良、分子育種や遺伝子機能解析に関する研究



### 微生物科学領域

菌類資源、微生物が生産する有用成分、および、農作物の病害防除などに関する研究



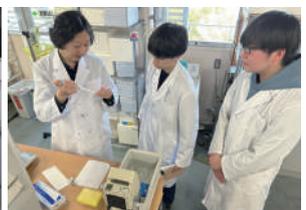
### 昆虫科学領域

社会性昆虫の行動・生態や機能利用、適応と進化の仕組みなどに関する研究



### 動物科学領域

哺乳類の恒常性の維持機構や行動の生理・生化学的基盤などを研究





# Student Voices

## 生産農学科 生物資源コース・生命科学コース

\*取材時の学年を表記



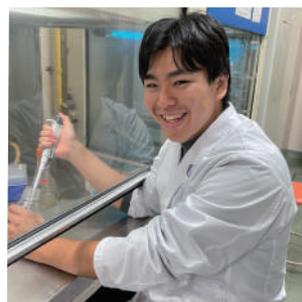
植物科学領域  
和田 岳人さん(4年生)  
埼玉県 西武台高等学校出身

### 入学のきっかけ

小さい頃から祖父の畑の手伝いが好きで、新鮮で美味しい野菜や果物を食べて育った経験から農業に興味を持ち、関東で学内に農場がある玉川を選びました。

### 学科での学びや展望

自宅でも野菜栽培をしていましたが、フィールド実習では肥料の効果を理解したり、農業機械や資材を用いた栽培をする経験ができました。また、座学では化学や土壌に関する講義が印象的で面白かったです。大学院ではブドウ栽培の研究を続け、土壌に関しても調査したいと考えています。将来は農業と異分野を繋げることに興味があるので、視野を広く持って農業に携われたらと考えています。



微生物科学領域  
久保 宏太さん(3年生)  
神奈川県 上溝高等学校出身

### 入学のきっかけ

コロナ禍に部活動が減り、祖母の家庭菜園を手伝うようになって野菜作りの楽しさに目覚め、農学部の中で栽培ができそうな学科に決めました。

### 学科での学びや展望

フィールド実習では、冬野菜の栽培の他にもキウイなどの果樹のことも学ぶ機会があり面白かったです。一方、1年次の授業などで微生物から農薬や薬の成分が作られることを知って関心が少し変わり、3年次には微生物科学領域を希望しました。今後、微生物に関する研究を通して基礎技術などを身に付け、卒業後には品質管理や商品開発などの仕事ができたらと考えています。



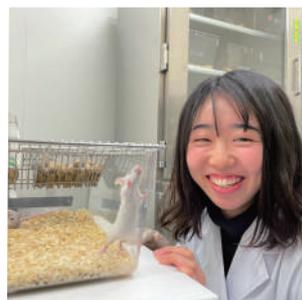
昆虫科学領域  
今井 邑さん(3年生)  
群馬県 高崎女子高等学校出身

### 入学のきっかけ

小1で珍しい昆虫を見つけてから昆虫採集に熱中。博物館の高校生学芸員に採用されて昆虫の研究を始め、ハチの研究に強い玉川に入りたいと思いました。

### 学科での学びや展望

植物についても学ぶことで視野が広がり、昆虫採集の時に自然環境の変化にも気がつくようになりました。これまでは昆虫の標本づくりを行い、分類学に興味を持って調査をしてきましたが、大学で化学に関する科目も学んだことで、現在は昆虫のフェロモンの化学的な分析にも興味を持っています。大学院進学も希望しており、将来的にも昆虫の研究を続けていきたいです。



動物科学領域  
大島 蒼生さん(3年生)  
神奈川県 座間高等学校出身

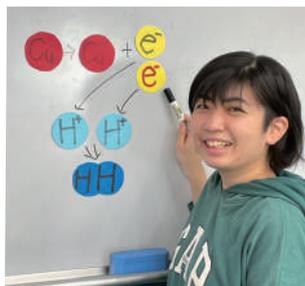
### 入学のきっかけ

動物が好きで、動物を扱える学科を探しました。また、部活の先輩から話を聞き、ワンキャンパスで勉強と部活ができる点でも玉川に魅力を感じました。

### 学科での学びや展望

農場実習で本格的な農作業をすることは大変でしたが、班でコミュニケーションを取りながら友達と楽しく学ぶことができました。また、生態学等の科目で進化についても興味が深まりました。最近、念願の動物の研究に向けてマウスの飼育管理が始まり、責任を持って取り組んでいます。今後、興味がある動物のストレス行動に関する研究を行い、研究で得られる経験を将来に活かせるようにしたいです。

## 生産農学科 理科教育コース



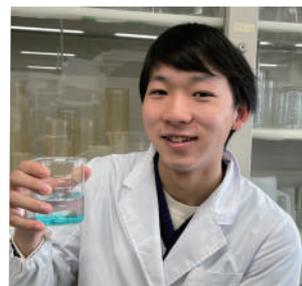
長谷川 京香さん(3年生)  
埼玉県 筑波大学附属坂戸高等学校出身

### 入学のきっかけ

Web サイトで教員の動画を見たり、オープンキャンパスにも話を聞きに来ました。専門科目もしっかり学べ、教科指導についても充実したサポートがあり、理科の教員に加えて小学校の教員免許も取れるところが魅力的でした。

### 学科での学びや展望

学部科目も学べる中、座学と実験の両方の模擬授業を行う機会が多くあり、科学の専門教員と中高の現場経験のある教員の両方から助言をもらえるので非常に勉強になります。同じ目標を持った仲間と過ごすのも居心地がよく、理科の教員になることを目指して日々頑張っています。



工藤 翠さん(3年生)  
東京都 武蔵丘高等学校出身

### 入学のきっかけ

中学の頃から理科の先生になりたいという気持ちがあり、母校での大学説明会で玉川大のことを知り、パンフレットの内容も見ても興味を持ちました。

### 学科での学びや展望

参観実習として実際の中学校教員の仕事を実験授業を含めて丸一日見学できた経験はとても勉強になりました。理科指導法では、学生同士で互いの模擬授業の改善点について意見交換をするので、徐々に力がついてきたと感じています。教職科目も身に付けることができ、高校で好きになった化学についても専門的な勉強を積み重ねてきたので、大学での学びを活かした教員になることが目標です。

# 生産農学科 理科教育コース



豊かな「体験」を通して実践的スキルを身に付けた理科教員になる

理科教育コースでは、児童・生徒に理科の面白さや不思議さはもちろん学問としての奥深さも伝えることのできる教師を養成します。1年次には生物学、化学を学びつつ農場での栽培実習『フィールド実習 A』を行います。その後、物理学、地学の専門的な知識を修得し、理科の実践的な授業スキルや実験指導スキルを身に付ける専門科目(『理科指導法 I~IV』『生物実験スキル』『化学実験スキル』『教職実践演習』『教材研究』等)に取り組んでいきます。

理科教育コースの学びは、1年次から同じ志を持ったクラスメイトと共に進められていくのが特徴です。日頃から教壇に立つことを想定し主体的に授業に取り組む学生を歓迎します。

理科教育コースでは、高等学校一種免許状(農業)も取得できます。さらに、小学校二種免許状を取得できるダブル免許プログラム\*も実施しています。

\*ダブル免許プログラムの受講には別途費用がかかります。

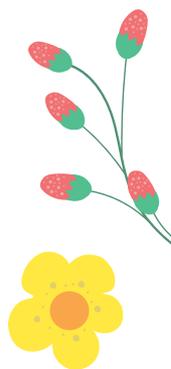


## 主な開講科目

シラバス(講義要覧・シラバス照会 をクリックしてください。)  
※科目名称や開講するセメスターは、変更されることがあります。



1年次		2年次		3・4年次		将来は	
参観実習など現場に触れながら、教職に関する基礎科目を履修。		理科に関する科目を学ぶとともに、教職に関するさまざまな科目を修得。		教職に関する科目を本格的に修得。4年次には教育実習で実践力を高める。		理科・農業の面白さを伝えられる教員へ	
1	2	3	4	5	6	7	8
学科の専門科目							
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産農学セミナー</li> <li>化学 A・B</li> <li>基礎化学実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物学 A・B</li> <li>基礎生物学実験</li> <li>フィールド実習 A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理学</li> <li>有機化学 A</li> <li>生物統計学 B</li> <li>地学実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学</li> <li>化学</li> <li>物理学実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境と農業</li> <li>植物生理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物行動学</li> <li>食品製造実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物学</li> <li>緑地保全学</li> <li>食品製造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類学</li> <li>野外活動指導法</li> </ul>
教職科目							
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育原理</li> <li>学習・発達論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の方法と技術</li> <li>教育の制度と経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談の理論と方法</li> <li>生徒・進路指導の理論と方法</li> <li>道徳教育の理論と方法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習</li> <li>教職実践演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職演習</li> </ul>
教職関連の専門科目							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>理科指導法 I・II</li> <li>職業指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業科指導法 I・II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科指導法 III・IV</li> <li>化学実験スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物実験スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究</li> </ul>	
学校体験活動 A		教育インターンシップ/学校体験活動 B				教育実習	





生態系科学領域 / 持続的農学領域



## 自然環境・農業・社会を多角的に理解し持続可能な社会へ貢献

持続可能な開発目標（SDGs）への社会的な意識の高まりから、専門的知識と問題発見・解決能力を持つ人材が世界的に求められています。それには、関連するさまざまな知識や経験、また、国際的に通用する英語力が欠かせません。環境農学科では「自然環境・農業・社会」をテーマに、豊富な英語プログラムや体験型授業、海外留学（約4ヶ月）、3年生後期以降の専門課程を用意し、「SDGs人材」を育みます。

### 学科基幹科目

※海外留学の時期により、科目を受講する時期は異なります。 ※科目名称や開講するセメスターは、変更されることがあります。

1年次 基礎を築く		2年次 発展的に学ぶ		3年次 研究の基礎を学ぶ		4年次 卒業研究		
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業と自然環境</li> <li>化学入門</li> <li>生物学入門</li> <li>農場実習A</li> <li>Intensive English A</li> <li>ELF</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎生物学実験</li> <li>環境と生態</li> <li>環境農学概論</li> <li>農場実習B</li> <li>Intensive English B</li> <li>ELF</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌生態学</li> <li>自然環境保全学</li> <li>統計学入門</li> <li>環境農学実験</li> <li>ELF</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>General English</li> <li>Plant Science</li> <li>Ecology</li> <li>Natural Resource Management</li> <li>Regional Environmental Studies</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的農業論</li> <li>農学国際協力</li> <li>地球環境科学</li> <li>農場実習C</li> <li>ELF</li> <li>Practical English for Science</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野生動物学</li> <li>緑地生態学</li> <li>領域演習A</li> <li>ELF</li> <li>Comprehensive Agri-Environmental Studies</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域演習B</li> <li>卒業研究A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業研究B</li> <li>卒業研究C</li> </ul>

### 農場実習A・B (1・2セメスター)

「体を動かしながら学べて楽しい!」と毎年、毎年、1年生に大好評の科目です。

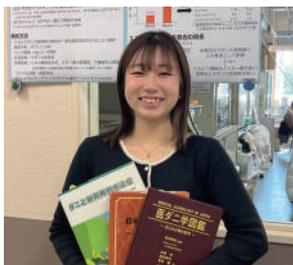


### 領域演習A (6セメスター)

卒業研究の準備として、教員の指導のもと、実験や調査を通して専門基礎を学びます。



### Student Voices



**有光 典子さん(4年生)**  
静岡県 藤枝明誠高等学校出身

**なぜこの学科を選びましたか?**  
生物を扱う大学の中でも、自然環境の中での動物の生態に興味があり、それらについて学べる本学科に指定校推薦で入学しました。

#### 実際に入学して感じたことは?

入学後、実習を含む様々な学修を通して、動物の生態を理解するためには、植物や土壌などの動物を取り巻く自然環境について幅広く理解することが大切だと気づきました。卒業研究では、マダニが媒介する感染症と、その宿主であるニホンジカの関係について調査し、その成果は学会でも発表することができました。準備はとても大変でしたが、たくさんの方に見に来ていただき大きな達成感が得られました。悔いの残らない、充実した4年間を過ごせました。



**田中 利駆斗さん(3年生)**  
東京都 共栄学園高等学校出身

**なぜこの学科を選びましたか?**  
高校で2週間留学した経験から、もう1回留学したいと思い、興味のある環境や農業が学べて、海外留学を含めても4年間で卒業できるこの学科を志望しました。

#### 実際に入学して感じたことは?

1年次は農場実習が毎週あり、田植えや、収穫、刈払機の使い方などの技術を楽しみ学ぶことができました。また、留学先では授業だけでなく、ホストファミリーとの生活や旅先で、積極的に動いてコミュニケーションをとったことで、英語力が大きく向上しました。留学後も就職に向けて勉強を続けています。卒業研究では、自然環境や農作物を活かした、地域活性化の取組みに貢献していきたいです。

# 国内プログラム

学内と学外(箱根・北海道・鹿児島)での農場実習で、農業と自然を学ぶ



## 箱根自然観察林

山地の自然や動植物とともに歩き方など野外での安全な活動方法についても学ぶ



## 北海道弟子屈農場

演習林実習、畜産実習、農業施設見学、周辺の自然観察調査を行い、北海道ならではの農業と自然を体験



## 鹿児島南さつま久志農場

柑橘や熱帯果樹の管理、農業施設見学、隣接するビーチで沿岸生態系を調査、南国らしい農業と自然を体験

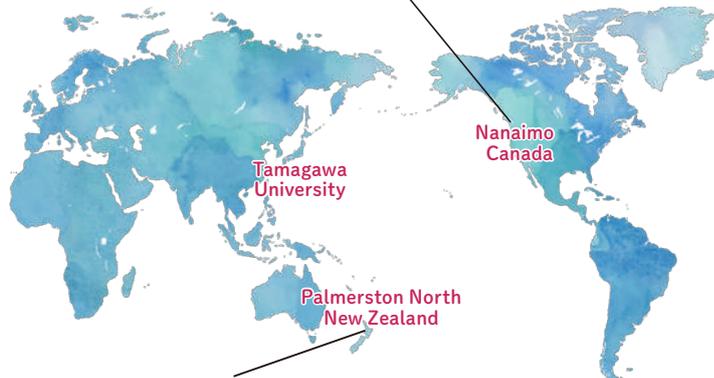
# 海外留学プログラム

4ヶ月の海外留学(必修)を含め、4年間で卒業

Vancouver Island University, Canada

## バンクーバーアイランド大学

(カナダ、ブリティッシュコロンビア州、ナナイモ)



Massey University, New Zealand

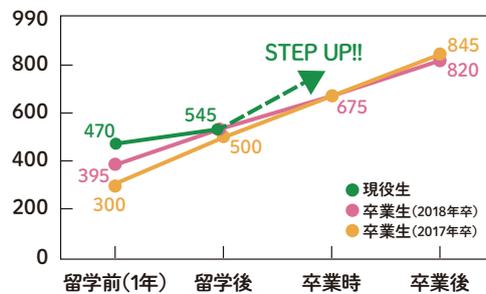
## マッセー大学

(ニュージーランド、パーマストンノース)

英語科目と、フィールドワーク(野外授業)を含む自然・農業・環境の専門科目を受講



世界に通用する「知識と力」を修得して卒業



卒業までにTOEIC®600点

# 2つの専門領域

3年生より「生態系科学領域」「持続的農学領域」のどちらかに所属し、4年生からは専門分野に分かれ卒業研究を進めながら、より高度な知識と技術を身に付けます。

## 生態系科学

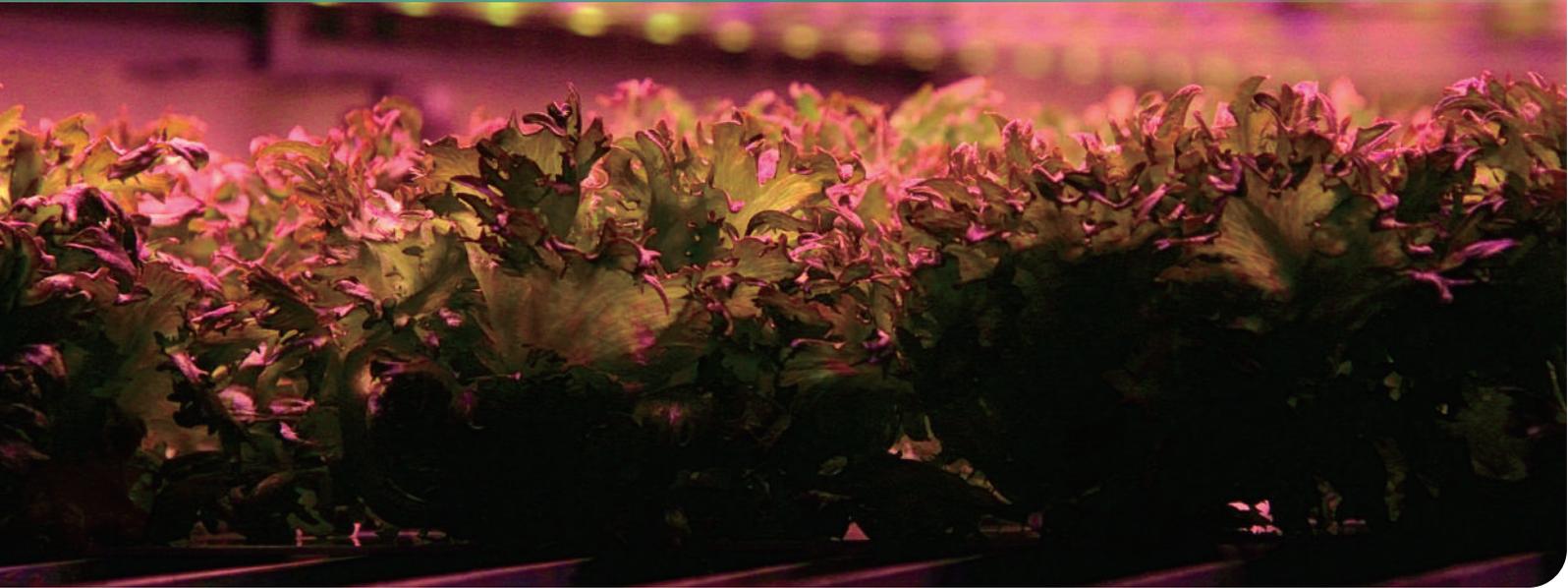
生態系や地球環境の成り立ち、人間による環境への影響を研究する

## 持続的農学

環境負荷の少ない農業技術や希少植物の栽培手法、農業と社会の関わりを学ぶ

### 2023年度卒業生の研究テーマ(一部抜粋)

- ・ 広葉樹二次林における生木と枯死木周辺の土壌呼吸特性
- ・ バイオチャーを用いた都市緑地への炭素隔離
- ・ 倒木による周辺環境の改善と生物多様性
- ・ 北海道における野生動物のログ堆積物利用について
- ・ 外来種ハッカチョウが在来種ムクドリに及ぼす影響
- ・ 中型外来哺乳類の誘引餌の検討
- ・ スナガニ類が土壌堆積物の有機物分解に与える影響
- ・ 光学衛星画像を用いた夜間光による落葉抑制の観測
- ・ 水耕栽培装置における液槽内の濃度がトマトに与える影響
- ・ スギカワ培地における灌水頻度とコチオウランの生育
- ・ 野生ラン科植物の採種法の検討～受粉方法と受粉量について～
- ・ オオタニワタリの胞子による人工増殖法の検討
- ・ 農福連携の現状と今後の展望～神奈川県を事例として～
- ・ スマート農業の都市農業における普及と障壁、今後の展望
- ・ ハマベンケイソウの花色変化に関わる化学的要因の検証
- ・ 南さつま市産の柑橘類、タンカンとの生長に伴う品質の変化



## サイエンスとテクノロジーを活用して、未来の「食」づくりに挑戦

先端食農学科では、食品の持つ役割や安全性について理解を深め、既存の農業を超えた食料生産のしくみや食品の機能性、食品製造にかかわる専門的な知識と実践的な能力を身につけます。

既存の農業を超えた食料生産システムとして、LED を用いて野菜を生産する「Future Sci Tech Lab」や、海産物を陸上で養殖する「Aqua-Agri Station」、生産された食料を安心して食べることのできる食品に加工する「Food Science Hall」など、大型の実習施設が設置されており、これらの実習施設を利用しながら新しい食料生産のしくみを体験的に学修します。



Future Sci Tech Lab



Aqua-Agri Station



Food Science Hall

## 主な開講科目

取得可能な資格：食品衛生管理者、食品衛生監視員(任意資格)など

※ 履修状況により、取得可能な資格が異なります。

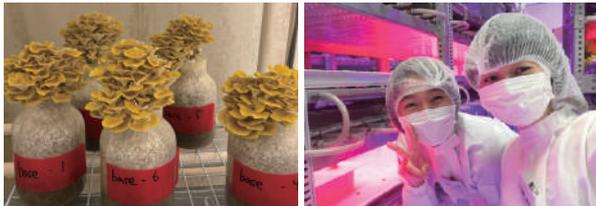
1年次		2年次		3年次		4年次	
食料・食品を理解する 基盤を築く		実験・実習で知識とスキルを 修得する		専門領域に所属し、実験・実習・ 演習を通して問題点を見出す		専門領域の中からテーマを発見 し追求する	
1	2	3	4	5	6	7	8
<b>講義科目</b> ■ 生物学 ■ 有機化学A ■ 先端食農セミナー ■ 化学 ■ 分析化学		<b>講義科目</b> ■ 生物化学A・B ■ 有機化学B ■ 水産学 ■ 生物統計学 ■ 微生物学 ■ 食品機能化学 ■ 食品製造科学		<b>講義科目</b> ■ 食品衛生学 ■ 畜産物利用学 ■ 植物生理学 ■ 栄養生理化学 ■ 応用栄養学 ■ 生物化学C		<b>講義科目</b> ■ 先端食農演習A ■ 先端食農演習B	
<b>実験実習科目</b> ■ 基礎生物学実験 ■ 基礎化学実験 ■ フィールド総合実習A		<b>実験実習科目</b> ■ 先端食農実験 ■ 先端食農実習 ■ 食品加工実習 ■ フィールド総合実習B		<b>実験実習科目</b> ■ 専門領域研究A ■ フィールド総合実習C ■ 専門領域研究B		<b>実験実習科目</b> ■ 卒業研究A ■ 卒業研究B ■ 卒業研究論文	
3年次より専門領域（システム農学領域／食品科学領域） に所属します							

※科目名称や開講するセメスターは、変更されることがあります。



## システム農学領域

農業の効率化や省力化を実現するために新しい技術の研究開発に取り組んでいます。ただ単に新しさを求めるだけでなく、卒業研究では基礎からの積み上げを重視しています。



植物工場や陸上養殖施設などの閉鎖系循環システムを利用した卒業研究が可能です。近未来型の食料生産に携わることで、新たな農業を考えてみよう。



## 食品科学領域

食品の安全、美味しさと健康について研究しています。新たな「食」づくりのための製造技術や機能性の解明という卒業研究に取り組むことで、社会で活躍できる人間形成を重視しています。



線虫やマウスなどのモデル生物、あるいはヒトを対象とした卒業研究が可能です。また、食品製造工場で使われている食品加工機械を操作して、新たな食づくりを考えてみよう。

# Student Voices



前村 優佳さん(4年生)  
神奈川県 横浜清風高等学校 出身

### 入学のきっかけ

私は LED 植物工場や陸上養殖に興味があり、栽培技術の他にも、食品の栄養や加工技術まで幅広く学べ、食品衛生管理者等の資格を取れることに魅力を感じて入学を決めました。

### 先端食農学科での学びや魅力

食品に関する授業が多いと思っていましたが、1年生の春から農作業を行う授業がありビックリしました。2年生以降も、座学だけでなく、実験、実習科目が多く、実体験を通して学ぶので記憶に残りやすいです。特に、鹿児島県の学外施設での実習は、現地の環境と生きものに触れて、とても印象に残っています。他学科の学生と共同生活しながらの実習で、協調性も身につきました。

### 入学のきっかけ

小さい頃から食べることが好きで、大学では食品について学びたいと考えていました。玉川大学は、先生と学生との距離が近く、植物工場や Food Science Hall などの施設を使って食品についての実践的な学習ができると考えて入学を決めました。

### 先端食農学科での学びや魅力

レポート作成や試験など、勉強は大変ですが、自分が好きなことを学べるのでやりがいがあります。特に、植物栄養学や食品加工実習などの授業を通して、食品の生産から加工まで幅広い視点を持つことができました。園芸班の活動では、校舎から農場まで距離が近いので、育てている野菜の様子を頻繁に見に行くことができます。植物に対する興味ますます深まり、食品についてとても好きになりました。



高瀬 圭輔さん(3年生)  
新潟県 新潟第一高等学校 出身



隅田 美羽さん(2年生)  
広島県 安田女子高等学校 出身

### 入学のきっかけ

私は小さい頃から食物アレルギーがあり、アレルギーを持つ人でも安心して食べられるものを開発したいと考えていました。玉川大学では、食品の機能性や製造に関わる知識や技術を身につけることができる点に魅力を感じて入学を決めました。

### 先端食農学科での学びや魅力

先端食農学科では1年生から、体験的な学びをすることができます。特に、学園内にある農場でトマトの定植、栽培、収穫を行った授業が印象に残っています。収穫後、トマトの栽培において自分が興味を持ったことについて調べ考察しました。授業を通して、大学では高校生の時よりも更に、主体的な姿勢で授業に取り組むことが大切であることに気づきました。

# 農学部 × キャリアセンター

## 就職に向けたサポート体制とキャリア教育



### 学年に応じてステップアップするキャリア教育

- ・1年次：キャリアについての講話
- ・2年次：進路開拓研修
- ・3年次：就職マナー講習（面接対策等）  
就職対策講座 / 業界研究会
- ・随時、個別相談への対応

### 生産農学科 生物資源コース・生命科学コース

#### 主な就職先

- ・タキイ種苗(株)
- ・(株)武蔵野種苗園
- ・日本農林社
- ・資生ケミカル(株)
- ・丸和バイオケミカル(株)
- ・ヤマト科学(株)
- ・日本食研ホールディングス
- ・横浜森永乳業(株)
- ・フジパングループ本社(株)
- ・秋本食品(株)
- ・イオンアグリ創造(株)
- ・東京千住青果(株)
- ・(株)アグリ総研
- ・(株)栄農人
- ・(株)理研グリーン
- ・(株)蜂蜜工房
- ・きのこの森有限会社(独)
- ・家畜改良センター
- ・静岡市農業協同組合(JA静岡市)
- ・横浜農業協同組合(JA横浜)
- ・茨城県庁

### 生産農学科 理科教育コース

#### 取得可能な免許・資格

- ・[理科]中学校教諭一種免許状
- ・[理科]高等学校教諭一種免許状
- ・[農業]高等学校教諭一種免許状
- ・小学校教諭二種免許状  
(ダブル免許プログラム受講により取得可能※)

※プログラムの利用には、入学後一定の成績を満たし、学部の選抜を経ることが条件となります。また、通信教育課程で学ぶ費用がかかります。

#### 主な就職先

- ・小学校教諭(全科)、  
中学教諭(理科)、  
高校教諭(理科、農業)
- 東京都教育委員会
- 神奈川県教育委員会
- 埼玉県教育委員会
- 千葉県教育委員会
- 茨城県教育委員会
- 山梨県教育委員会 等

### 環境農学科

#### 主な就職先

- ・株式会社環境管理センター
- ・ココロラボトランスジャパンビジネスサービス
- ・共立製菓株式会社
- ・株式会社大田花き
- ・公益財団法人埼玉県学校給食会
- ・清水建設(株)
- ・山崎製パン(株)
- ・浜銀TT証券(株)
- ・イオンリテール(株)
- ・(株)京樟
- ・UTコンストラクション(株)
- ・町田市農業協同組合(JA町田市)
- ・(株)伊藤園
- ・平松畜産(株)
- ・(株)ユニバーサル園芸社
- ・(株)那須環境技術センター
- ・ユニフルティージャパン
- ・岐阜日産自動車(株)
- ・東一川崎中央青果(株)
- ・生活協同組合ユーコープ
- ・全国農業協同組合連合会 山形県本部(JA全農山形)
- ・大内山酪農農業組合
- ・住友林業緑化(株)
- ・神奈川県警察本部
- ・愛媛県庁
- ・埼玉県庁
- ・小田原市役所

### 先端食農学科

#### 主な就職先

- ・(株)伊藤園
- ・キューピー(株)
- ・協同乳業株式会社
- ・高梨乳業(株)
- ・マルハニチロ(株)
- ・マリンフーズ(株)
- ・はごろもフーズ(株)
- ・日本ハム(株)
- ・菊正宗酒造(株)
- ・株式会社東ハト
- ・敷島製パン(株)
- ・フジパングループ本社(株)
- ・(株)創味食品
- ・株式会社明治屋
- ・オーケー(株)
- ・イオンリテール株式会社
- ・(株)あきんどシロ
- ・プライムデリカ(株)
- ・わらべや日洋食品(株)
- ・伊藤忠食品(株)
- ・(株)シャトレーゼ
- ・東和薬品(株)
- ・全国農業協同組合連合会 茨城県本部(JA全農茨城)
- ・セレサ川崎農業協同組合(JAセレサ川崎)
- ・横浜農業協同組合(JA横浜)
- ・特別区人事委員会
- ・山梨県警察本部

### アクセス

- 新宿より小田急線(快速急行)に乗りし、  
「新百合ヶ丘」にて(各停)〈準急〉に乗り換え  
所要時間 約30分
- 横浜よりJR横浜線「町田」にて  
小田急線〈各停〉〈準急〉に乗り換え  
所要時間 約45分
- 羽田空港から京急空港線に乗りし、  
「京急蒲田」で京急本線に乗り換え「横浜」へ。  
JR横浜線に乗り換え、「町田」で  
小田急線〈各停〉〈準急〉に乗り換え  
所要時間 約90分



### Information

#### お問い合わせ

TEL 042-739-8155

〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1(入試広報部)

e-mail: koho@tamagawa.ac.jp

土曜・日曜・祝日及び下記の期間は休務となります。  
12月24日～1月5日(冬期休暇)

\*その他、学園行事及び入試広報部諸行事で休務となることがあります。ご了承ください。

[https://www.tamagawa.ac.jp/college\\_of\\_agriculture/](https://www.tamagawa.ac.jp/college_of_agriculture/)



入試Navi